

鳥の詩

「AIR」の主題歌

消える^き飛行機雲^{ひこうきぐも} 僕^{ぼく}たちは見^み送^{おく}った
眩^{まぶ}しくて逃^にげた いっ^いつだ^だって弱^{よわ}くて
あ^あの^ひ日^かから 変^かわらず いっ^いつま^までも 変^かわらずに
い^いられな^なかった^{こと} 悔^{くや}しくて 指^{ゆび}を離^{はな}す

あ^あの^{とり}鳥^とはま^まだ うま^うく 飛^とべない^{けど}
いつ^{いつ}かは風^{かぜ}を切^きって知^しる
届^{とど}かない^{ばしょ}場所^が ま^まだ遠^{とお}く^{にある}
願^{ねが}い^ひだけ秘^みめて見^みつめて^る

子^こ供^{ども}たちは 夏^{なつ}の線^{せん}路^ろ歩^{ある}く 吹^ふく風^{かぜ}に 素^す足^{あし}を晒^{さら}して
遠^{とお}く^{には} 幼^{おさな}か^ひった^び日^{りょうて}々^とを 両^{りょう}手^てに^は 飛^とび立^たつ^{きぼう}希^き望^{ぼう}を

消^きえる^{ひこうきぐも} 飛^ひ行^{こう}機^き雲^も 追^おいかけて^お追^おいかけて
こ^この^{おか}丘^かを越^こえた あ^あの^ひ日^かから 変^かわらず いっ^いつま^までも
ま^まっす^まぐに 僕^{ぼく}たちはあ^ある^{よう}に
海^{わたつみ}神^{つよ}の^{まも}よ^もうな 強^{つよ}さ^{まも}を^も守^もれる^よ き^きっ^と

あ^{そら}の^{まわ}空^{ふうしゃ}を回^はる 風^は車^ねの羽^は根^ねたち^は
いっ^いつま^までも^{おな}同^{おな}じ^{ゆめみ} 夢^{ゆめ}見^みる
届^{とど}かない^{ばしょ}場所^を ず^ずっ^みと見^みつめて^る
願^{ねが}い^ひを^{とり}秘^{ゆめ}めた^る 鳥^{とり}の^{ゆめ}夢^{ゆめ}を

振^ふり返^{かえ}る 灼^やけた^{せんろ}線^ろ路^{おお} 覆^{にゅうどうぐも}う 入^か道^か雲^か 形^かを^か変^かえて^も
僕^{ぼく}ら^{おぼ}は 覚^{おぼ}えて^いて だ^きう^せか 季^せ節^つが 残^{のこ}した^{きのう}昨^{きのう}日^うを…

消^きえる^{ひこうきぐも} 飛^ひ行^{こう}機^き雲^も 追^おいかけて^お追^おいかけて
早^{はや}ず^あぎ^いる^ず合^あ図^い ふ^ふた^わり^ら笑^だい^だ出^だして^る いっ^いつま^までも
真^まっ直^すぐに 眼^{まな}差^ざし^はあ^ある^{よう}に
汗^{あせ}が^に滲^にん^にで^ても 手^てを^{はな}離^{はな}さ^ない^よ ず^ずっ^と

消える^き飛行機^{ひこうき}雲^{ぐも} 僕^{ぼく}たちは見^み送^{おく}った
眩^{まぶ}しくて逃^にげた いつだ^{よわ}って弱^{よわ}くて
あの日^ひから 変^かわらず いつま^かでも変^かわらずに
いられな^くかったこと 悔^くしくて 指^{ゆび}を離^{はな}す